

2023  
8月号

No.125

# 営農情報誌

J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課

TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085



**ご不明な点があれば携帯までご連絡ください**

## 適正な水管理について

- ポイント**
- ・出穂前後3週間は、品質向上とカドミウム抑制のため湛水管理を実施しましょう。
  - ・出穂期以降は稲が最も水を必要とする時期です。早期落水は白未塾粒や胴割粒の発生が多くなります。
  - ・収穫作業に支障のない範囲で、出来る限り遅くまで入水しましょう。

### 注意

高温下では、品質低下が一層助長されてしまいます。収穫作業に支障のない程度に落水は遅らせましょう。

出穂期

収穫までは土を白く乾かさない

収穫

**出穂前後各3週間常時湛水**

7月

8月

9月

## 収穫適期の予測について

### 出穂期から見る収穫予測

出穂確認日

+

登熟日数

=

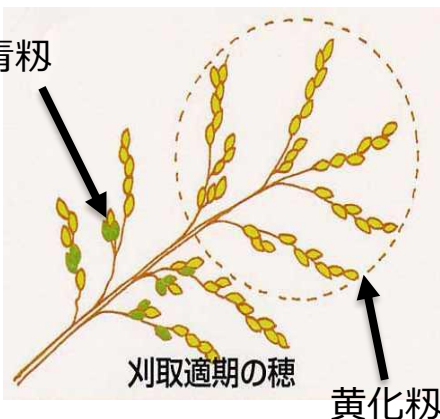
収穫予定日

品種により異なります。

登熟日数

みずかがみ	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴	秋の詩
約32～34日	約32～37日	約32～37日	約35～40日	約35～40日

青籾



刈取適期の穂

黄化籾

### 籾黄化率からの収穫予測



栽培の手引きの裏表紙  
収穫適期判定シート

籾黄化率  
50%

+

約7日

=

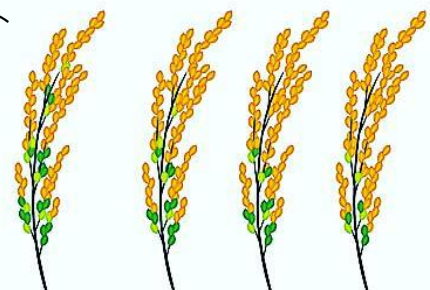
収穫予定日

籾黄化率85%

※みずかがみ90%

※出穂後の気温が高い年は登熟日数が短くなる傾向があります。早生品種だけでなく、中生品種でも出穂後30日を過ぎたら収穫の準備を整えましょう。

※高温年は出穂のばらつきが大きくなる傾向があります。収穫適期を見極めて刈り遅れのない様に注意しましょう。



70%

80%

85%

90%

まだ早い!


ここが刈取り適期

# 異品種・異物混入（コンタミ）防止について

水稲には、風で飛んできたゴミが田に入ったり、雑草の種子が選別機で取り除けずに混ざるなど、さまざまな異物混入リスクがあります。異物の混入は国の農産物規格規定で1等米の最高限度が0.2%と厳しく定められています。等級向上のためにも積極的に対策を行いましょ。


## 主な異物について

### クサネム




籾摺り時に取り除くのは困難です。検査では異物混入となり、等級を下げる原因にもなります。

### 粃(もみ)



特に稲こうじ病菌の損傷を受けていることが確認されたものについては、混入量に関わらず規格外となります。

### 石



土砂および石、ガラス片、金属片やプラスチック片等は異物です。農産物規格規定では「混入させてはいけない」とされています。混入させないよう丁寧に刈り取りしましょう。



異物混入を防ぐために刈取り前にコンバイン・乾燥機・もみすり機など、使用する機械や作業場の保守点検・整備・清掃を徹底しましょう。

## 異品種混入事故の主な事例(原因と対策)

### 事故例 播種・育苗・移植段階での取違い

播種もしくは移植段階において品種の取違いがあったが、そのまま収穫されカントリーに出荷したことから大規模なコンタミ事故となった。

### 対策

コンタミ防止は播種作業時から行わなければならないことを認識し、播種・育苗・移植時にも品種名を確認し作業を進め出荷時においても品種突合を行いましょ。

### 事故例 作業段階での確認不足

一連の作業を家族内の複数人員で行っていたため、取扱品種の共通認識・管理がされておらず、コンタミ事故を招いた。

### 対策

各作業段階において、誰が見ても品種がわかるよう、品種名を明記するとともに、確認を徹底しながら作業を行いましょ。

